

【22_162技術系メルマガ】常に自分の中での『同じ形』を意識する

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今夜は僕が担当する『鉄板セミナー』をやらせていただきます。

この1年でアップデートした考え方、特にルーティンの重要性についてガッチリ深掘りする予定なので

参加予定の皆さんは楽しみにしてくださいね。

昨日は延々建値のエントリーが続くかと思いましたが

LN時間後半戦に差し掛かったところで一つ良いポイントがありました。

▼GBPJPY(S) 結果:35pips▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1535199031416455169?s=20&t=ae_JBvTEA3KoiVBYL9kyHg

日～週足の高値圏で、ここからのロングは怖い環境。

H4足は20SMAに対し下抜けG1確定の足も出ており、ショート目線固定。

本来はLN時間の初動でもっと高い所からエントリーしたい場面だったが

一時的なプルバックからM5足以下のパターン(三尊)出現、直近安値までリワード3確保できることを確認してエントリー。

～～

さて、今日のメルマガのテーマですが『ルーティン』に関連して、すこしばかり技術的な話をしようと思います。

□
■ どうしたらいいか分からなくなったら、いつも『同じ形』を思い出そう

例えば、トレードをしている中で負けが込んだりしてくると

自分の「勝ちパターン」のイメージがだんだんわからなくなり、どんな仕掛けところで

エントリーすればいいのかわからなくなってしまう、なんてことも起こるようです。

僕自身も、チャートを見ていて迷いに囚われていると感じるときは

常に過去に検証したチャートを見返すとともに、常に自分の中で狙うトレードのパターンイメージを

繰り返し刷り込むようにしています。

▼僕の常に狙うイメージ▼

ロング

https://drive.google.com/file/d/1WCCP8aRzblAH_aSMaC8KDdw5gqMc3yTX/view?usp=sharing

ショート

https://drive.google.com/file/d/1ydr6Y3kl-9_tdgApYJt8XfBQY0BFfGGa/view?usp=sharing

当然ながら、プルバックの深さや、1波の認識の根拠、上位足の環境など

細かいニュアンスは各状況毎に全く異なるので、あくまでも「大雑把なイメージ」でしかないのですが

その『イメージ』を常に焼き付けておくことは、トレードに『一貫性』を持たせる意味でも非常に重要になってきます。

これが明確でないと、エントリーする場所はもとより、どこで損切りするか(≒リスクコントロールの一貫性)も失われ

野放図なエントリーを許すことになってしまうし、このような意識のズレがポジポジ病など

損を膨らませる「本能的な行動」に結びついてしまうわけです。

水が低い方に勝手に流れていくのと同じように、トレードという特殊な状況においても

人間は意識をしていないと、本能に任せた行動(=典型的な負ける行動)をしてしまいがちです。

そんな時にこそ、一旦トレードに熱くなっている自分を俯瞰して観察するように

「そもそも、自分の“型”はどんな場所を狙うのだったか？」を考えつつ、自分の中でのチャートイメージを明確にしてみましょう。